

富谷市記者会見資料③

令和元年 12 月 26 日

教育部

担 当：荒谷

連絡先：022-358-0524

## 目指せ!2022 北京オリンピック・スケルトン競技 高橋弘篤選手後援会設立について

本市出身の、高橋弘篤選手は、あけの平小学校、富谷第二中学校、富谷高等学校、そして仙台大学を 2007 年 3 月に卒業後、長野県長野市でスケルトン競技活動を続け、2014 ソチ五輪・2018 平昌五輪の 2 大会連続の五輪出場を果たしました。平昌五輪後は、故郷である宮城県に拠点を戻し、新たな一步を踏み出しました。

現在は、2022 年北京オリンピックをスケルトン選手としての集大成の舞台と決め、オリンピック出場・上位入賞を目指し、地元の企業や団体の方々から協力をいただきながら、遠征費・トレーニング費等の活動資金を集め活動しています。

しかしながら、個人での資金獲得は厳しいことから、活動資金のサポートや講演会等地域貢献活動の開催などを支援する会として、「目指せ！2022 北京オリンピック・スケルトン高橋弘篤選手後援会」を設立する事になり、設立総会を開催することになりました。

報道機関の皆さんには、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。高橋選手本人からも、北京オリンピック向けの意気込みなどをお話いただくことになっております。

### 記

- ・日時 12 月 26 日(木) 13:30~14:00
- ・会場 市役所 3 階 305 会議室
- ・内容 後援会設立 若生富谷市長挨拶、高橋選手挨拶、後援会長挨拶  
設立内容説明など  
※別添次第を参照願います



目指せ！2022北京オリンピック

# スケルトン高橋弘篤選手 後援会設立

【記者発表】

令和元年12月26日（木）PM1:30 富谷市役所3階会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 後援会代表挨拶
  - ・顧問 若生 裕俊 富谷市長
  - ・会長 大川 明雄 くらかわ商工会会長
- 3 出席後援会理事紹介
- 4 高橋弘篤選手挨拶
- 5 後援会組織について
- 6 質疑応答
- 7 記念撮影
- 8 閉 会



高橋弘篤選手

スケルトン高橋弘篤選手後援会

## 1, スケルトン高橋弘篤選手後援会設立について

高橋弘篤選手（以下、**高橋選手**）は、富谷町立あけの平小学校、富谷町立富谷第二中学校、宮城県富谷高等学校、そして仙台大学を2007年3月に卒業後、長野県長野市でスケルトン競技活動をしてきましたが、平昌オリンピック後、故郷である宮城県に拠点を戻し、新たな一步を踏み出しました。

現在は、2022年北京オリンピックをスケルトン選手としての集大成の舞台と決め、オリンピック出場・上位入賞を目指し、地元の企業や団体の方々から協力をいただきながら、遠征費・トレーニング費等の活動資金を集め活動しています。

しかしながら、個人での資金獲得は厳しいものがあり、そこで、富谷市出身の高橋選手を富谷市民を中心に後援会を立ち上げ、選手活動資金のサポート、また、講演会等地域貢献活動の開催などの活動を支援する会として「目指せ！2022北京オリンピック・スケルトン高橋弘篤選手後援会」を設立する事になり、これまで発起人会により協議を進めてまいりました。

この度、発起人会での協議がまとまり、別添の後援会組織として理事各位の賛同をいただき設立することになりました。

## 2, 後援会設立発起人会について

発起人名

若 生 裕 俊	富谷市 市長
畑 山 和 晴	富谷市議会 副議長
大 川 明 雄	くろかわ商工会 会長
菅 原 義 一	富谷市教育委員会 教育長
亀 庄 六	富谷市スポーツ協会 会長
青 柳 力	(株)あおやぎ代表取締役 社長（支援者・大崎市）
佐々木 優	おひさまにこにこ歯科医院 院長（支援者・利府町）

### 3, 後援会設立について

設立予定年月日 令和元年12月26日

後援会理事 別紙名簿のとおり

### 4, 後援会活動計画概要について (会則の定めによる)

#### (1) 高橋選手サポート

- ・原則として、2022北京オリンピックまでの会費(年会費)を会員様にお願いし、約8割を高橋選手活動費とし、約2割を後援会活動費に充てる予定で計画中。
- ・個人会員は、1口3,000円以上とする。
- ・企業、事業所(法人)は、1口10,000円以上とする。
- ・高橋選手サポートは、北京オリンピック出場へ向けての活動、また、世界選手権をはじめヨーロッパカップ等あらゆる活動へ向けて支援する。
- ・会員様へは活動報告会報や記念品、グッズ、サイン色紙等のご提供を予定。

#### (2) 地域貢献活動

- ・スポーツに限らず、あらゆる場面において、夢を持つことにより競技の楽しさや人間性の育成、人の輪の大切さなどを体験談を元に講演や実技指導などを行う。
- ・活動を通して地元を内外にPRする。
- ・地元のイベント等に積極的に参加する。

### 5, 高橋弘篤選手活動スケジュール

令和元年(2019)	12月中旬	帰国		
	12月26日	後援会設立記者会見		
令和2年(2020)	1月上旬	海外遠征出発		
	1月下旬	帰国		
	2月下旬	海外遠征出国	世界選手権出場	ドイツ
			ヨーロッパ大会	各国

	3月上旬	帰国	
	4月上旬	個人合宿	スプリントトレーニング等
	5月中旬	個人・全日本合宿	
	6月上旬	個人合宿（下旬）	
	7月上旬	個人合宿（下旬）	
	8月上旬	全日本プッシュ	
	9月上旬	選考会	
	10月上旬	海外遠征・選考会	
	11月下旬	海外遠征出国	
	12月中旬	帰国	
令和3年（2021）	1月上旬	海外遠征出発	
	1月下旬	帰国	
	2月下旬	海外遠征出国	世界選手権出場 ヨーロッパ大会
	3月上旬	帰国	
	3月中旬	全日本合宿	
	4月上旬	個人合宿	スプリントトレーニング等
	5月中旬	個人・全日本合宿	
	6月上旬	個人合宿（下旬）	
	7月上旬	個人合宿（下旬）	
	8月上旬	全日本プッシュ	
	9月上旬	選考会	
	10月上旬	海外遠征・選考会	
	11月下旬	海外遠征出国	
	12月中旬	帰国	
令和4年（2022）	1月上旬	海外遠征出発	
	1月下旬	帰国	
	2月上旬	2022北京オリンピック	（2/2～2/20）

## 6. 後援会に関する問合せ先（事務局）

事務局 富谷市教育委員会 生涯学習課 022-358-5400（富谷武道館内）